

■コメント

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザは、学校が冬休みに入ったため報告数は少なくなっていますが、注意報レベルを超えています。これまでの過去の例から、学校が始まると再び流行が拡大すると予測されます。

・インフルエンザの感染経路には飛沫感染と接触感染があります。飛沫感染は、感染した人の咳やくしゃみの飛沫に含まれるウイルスを、他の人が吸い込むことによる感染です。接触感染とは、感染した人が咳やくしゃみ、鼻水などのついた手でドアノブなどに触れ、その場所を触った他の人が、さらにその手で口や鼻に触ることにより、間接的にウイルスが体内に入る感染です。インフルエンザの感染予防には、これらの感染経路を断つことが重要です。(次頁参照)

・寒い日が続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗い・咳エチケットの励行など、感染症予防を心がけましょう。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	368	10.22	3.19		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.64	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.39	0.27		小児科	RSウイルス感染症	8	0.35	0.50	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	1.17	0.97		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	85	3.70	5.63		眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	0.61	
	水痘	6	0.26	0.74		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.09	0.18			無菌性髄膜炎	-	-	0.12	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.42			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14	
	突発性発しん	3	0.13	0.18			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

報告はありません。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	定点数	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳(注)	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
広島市	第49週	152	12	67	206	11	9	2	11	-	2	2	13	-	6	-	-	1	-	-
	第50週	282	11	67	270	19	21	-	5	1	-	1	19	-	6	-	1	-	-	-
	第51週	721	6	92	243	15	14	-	5	-	1	-	4	-	9	-	2	-	-	-
	第52週	632	10	44	245	14	9	1	7	-	1	4	11	1	5	-	-	-	-	-
	第1週	368	9	27	85	6	2	1	3	-	1	1	8	-	2	-	-	1	-	1
広島市	第49週	4.11	0.50	2.79	8.58	0.46	0.38	0.08	0.46	-	0.08	0.08	0.54	-	0.75	-	-	0.14	-	-
	第50週	7.62	0.46	2.79	11.25	0.79	0.88	-	0.21	0.04	-	0.04	0.79	-	0.75	-	0.14	-	-	-
	第51週	19.49	0.25	3.83	10.13	0.63	0.58	-	0.21	-	0.04	-	0.17	-	1.13	-	0.29	-	-	-
	第52週	17.08	0.42	1.83	10.21	0.58	0.38	0.04	0.29	-	0.04	0.17	0.46	0.13	0.63	-	-	-	-	-
	第1週	10.22	0.39	1.17	3.70	0.26	0.09	0.04	0.13	-	0.04	0.04	0.35	-	0.25	-	-	0.14	-	0.14
全国	第51週	12.87	0.71	2.97	8.39	0.52	0.61	0.08	0.36	0.01	0.08	0.28	0.73	0.02	0.83	0.01	0.04	0.36	0.01	0.02
	第52週	17.88	0.63	2.44	7.29	0.49	0.43	0.07	0.33	0.01	0.04	0.23	0.70	0.01	0.75	0.02	0.02	0.35	0.01	0.05

(注) 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.6)	9	女	2017/11/28	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.6)	2	男	2017/11/29	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.2) 鼻炎	6	女	2017/12/04	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
感染性胃腸炎	発熱(37.2) 嘔吐 下痢	0	男	2017/11/28	糞便	ノロウイルスG2
流行性角結膜炎	不詳	32	女	2017/11/17	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱 肺炎	2	男	2017/09/16	咽頭拭い液	ライノウイルス

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

●感染症予防のために手を洗いましょう●

インフルエンザの接触感染を予防するには、手洗いが有効です。外出先からの帰宅時など、正しい手洗い方法でこまめに手を洗いましょう。

- 1 まず流水で汚れを簡単に洗い流します。
- 2 石けんをつけて十分に泡立て、手のひらを合わせてよくこすります。
- 3 手の甲をよくこすります。
- 4 両手を組むようにして指の間をよく洗います。
- 5 指先や爪の間を手のひらの上でよくこすって洗います。
- 6 親指を反対の手でねじるようにして洗います。
- 7 手首も反対の手でねじるようにして洗います。
- 8 流水で石けんと汚れを十分に洗い流します。
- 9 最後に清潔な乾いたタオルかペーパータオルでしっかりとふきます。



詳しくは、広島市感染症情報センターHP「正しい手の洗い方(感染症予防のために手を洗いましょう)」をご覧ください。
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1267092348907/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第1週(1月1日～1月7日)